



【学校教育目標】

「自主協同」夢の実現をめざす

【校訓】

自主協同

野洲北中学校 学校だより



SINCE 1984

令和8年(2026年) 7月 17 日号 No.5

1 学期を終えて ～充実した学びと成長の歩み～

4月10日にスタートした1学期も、本日、終業式を迎えました。

1年生にとっては、中学校生活のすべてが新しい経験でした。授業や部活動、定期テストなど、初めてのことばかりの毎日でしたが、少しずつ学校生活に慣れ、仲間との関係を築いてきました。6月の校外学習では、協力しながら活動する中で学級の絆を深めることができました。



1年校外学習

2年生は、職場体験学習に取り組みました。地域の事業所や公共施設の皆様のご協力のもと、働くことの意義や責任について学ぶ貴重な機会となりました。今回の体験は、将来の進路や生き方について考える大切なきっかけになったことと思います。

3年生は、東京方面への修学旅行を実施しました。みんなで眺めた富士山、班別研修で巡った東京の街並み、仲間と過ごした3日間は、中学校生活の大きな思い出となりました。集団としての成長も随所に見られ、最高学年としての頼もしさを感じることができました。

各学年とも大きな行事に取り組みましたが、それだけでなく、日々の学習や学校生活にも真剣に向き合う姿が見られました。学校には地域の方や高校の先生方など、多くのお客様が来校されます。そのたびに、「生徒たちが落ち着いて学習していますね」「あいさつが気持ちいいですね」と、お褒めの言葉をいただきます。みなさんの頑張りが学校の外でも認められていることを、大変うれしく思っています。

さて、明日からは夏休みが始まります。夏休みは、普段の学校生活では得られない経験ができる貴重な期間です。読書や部活動、家族との時間、地域での活動など、それぞれが自分自身を成長させる機会としてほしいと思います。

また、時間に少し余裕のある夏だからこそ、「自分は何に興味があるのか」「将来どのような人になりたいのか」を考えてみるのもよいでしょう。大きな挑戦でなくても構いません。これまで続けてきたことをさらに深めたり、新しいことに一歩踏み出したりする経験は、必ず今後の成長につながります。

一方で、交通事故や水の事故、SNSをめぐるトラブルなどには十分注意し、健康と安全を第一に過ごしてほしいと思います。

2学期の始業式には、一回り成長したみなさんの元気な姿に会えることを楽しみにしています。



2年職場体験学習

はつらつ野洲っ子中学生広場「私の思い 2026」

7月4日（土）に野洲文化小劇場で、はつらつ野洲っ子中学生広場が開催されました。市内3中学校の各学年代表が、意見発表を行いました。テーマとしては、命の大切さ、友だちのこと、家族について、尊敬する人など、中学生が日頃感じていることをたくさんの観客の前で力強く発表していました。本校の3人の発表者は、聞き取りやすいスピードで訴えたい内容を強調したり、思いをこめて表現するなど素晴らしい発表を行いました。また、受付や司会など運営委員として本校の生徒も活躍しました。

9人の発表者から、本校3年生代表の山本唯愛さんが優秀賞に、2年生代表の千代大雅さん、1年生代表の渡辺莉子さんが入賞しました。

World Masters Games2027 TEST EVENT

World Masters Games2027 TEST EVENT カヌーマラソン・アジア大会に日本代表として、3年生の岩井楓さんが出場します。8月6日～8日にかけて京都府京丹後市で開催されるイベントです。U18 カテゴリーのカヤックの部に出場します。中体連の大会ではないですが、野洲北中学生在日本代表として出場することをうれしく思います。健闘を期待しています。

8月29日（土）グラウンド除草作業

8月29日（土）7:30～9:00 グラウンドと校舎周辺の除草作業及び溝掃除を予定しています。ご多忙のところ恐縮ですが、保護者の皆さま、ご参加いただきますようよろしくお願いいたします。なお、生徒に関しては、部活動単位での活動を予定しております。また、学校運営協議会を通じて、野洲北中学校ボランティア活動として地域の皆さまにも案内をしております。

県立高校の体験入学が始まります

夏休みには、県立高校を中心に体験入学や学校説明会が開催されます。3年生のみなさんは、先日まで行われた三者懇談の中で進路について話し合った人も多かったことでしょう。

これまでは、学校案内のパンフレットやホームページ、インターネットなどを通して高校について調べてきたと思います。しかし、実際に学校を訪れ、自分の目で見て、先生や先輩の話を聞き、その場の雰囲気を感じることで初めて分かることもたくさんあります。

「百聞は一見にしかず」ということわざがあります。何度も話を聞くよりも、一度実際に見てみる方がよく分かるという意味です。高校の校風や学習環境、生徒の様子などは、実際に足を運んでみることで、より具体的に感じ取ることができます。

また、体験入学は高校を知るためだけでなく、自分自身を見つめる機会でもあります。「自分はどのような学校で学びたいのか」「どのような高校生活を送りたいのか」を考えながら参加してほしいと思います。進路選択は、自分の将来につながる大切な選択です。ぜひ主体的に参加し、自分の目で見て、聞いて、感じたことを大切にしてください。

一方で、1・2年生のみなさんにとっても進路選択は決して遠い話ではありません。中学校卒業後の自分の姿を思い描きながら、普段の授業や部活動、学校行事にしっかりと取り組むことが、進路を考える第一歩です。また、家族や地域の方の仕事について話を聞いたり、高校について調べたりすることも将来を考えるよい機会になります。

「高校を選ぶ」のではなく、「自分が3年間学び、成長する場を選ぶ」という視点を大切にしながら、この夏を有意義に過ごしてほしいと思います。

※8月8日～16日までは、学校閉庁日となりますので、緊急の場合は、野洲市役所（587-1121）までご連絡ください。（土・日・祝日も緊急の場合は、野洲市役所に連絡ください）